

## 南シナ海夏季モンスーンの開始日の変動について Interannual variation in the summer monsoon onset dates over South China sea

今川 新<sup>1\*</sup>, 樋口 篤志<sup>2</sup>

Shin Imakawa<sup>1\*</sup>, Atsushi Higuchi<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 千葉大学大学院理学研究科博士前期課程地球生命圏科学専攻地球科学コース, <sup>2</sup> 千葉大学環境リモートセンシング研究センター

<sup>1</sup>Grasuate School of Science, Chiba University, Japan, <sup>2</sup>Center for Environmental Remote Sensing (CEReS), Chiba University, Japan

Kajikawa and Wang, 2012 で南シナ海における夏季モンスーンの開始日は 1993/94 年を境に早期化していることが指摘された。本研究ではこの 15 年平均の開始日の変動だけでなく開始日の年々変動について、南シナ海周辺の気象場の比較を行った。

JRA-25/JCDAS の 850hPa 高度の水平風や NOAA の OLR(上向き長波放射)を用いて、北緯 5 度から 15 度・東経 110 度か 20 度の領域を平均して東西風が西風となるときを南シナ海夏季モンスーンの開始日と定義し、1979 年から 1993 年(前期)と 1994 年から 2008 年(後期)の期間で開始日が早い年・遅い年を 3 年ずつ抽出し、4 つのグループに分けて南シナ海及び周辺の気象場を比較した。

その結果、前期の開始日の早いグループでは 4 月下旬にベンガル湾にて強い対流活動が見られたが、一方で開始日の後の南シナ海上での対流活動の活発化が遅かった。また、OLR を用いて南シナ海夏季モンスーンの開始日を導出した場合と東西風を用いた場合を比較すると、開始日の変動に違いが見られた。

キーワード: モンスーン

Keywords: monsoon